

一般社団法人 日本神経精神薬理学会
第 71 回理事会議事録

日 時 2019 年 4 月 21 日 (日) 13:00~16:00
場 所 AP 品川 9F 「N+0」ルーム
出席理事 中込 和幸、大隅 典子、井上 猛、岩田 仲生、大森 哲郎、菊地 哲朗、喜田 聡、
久住 一郎、成田 年、南 雅文、宮川 剛、宮田 久嗣、西川 徹
以上 17 名中 12 名出席
欠席理事 尾崎 紀夫、北市 清幸、橋本 均、服部 信孝、山脇 成人
出席監事 西川 徹
欠席監事 吉岡 充弘
出席委員長 新田 淳美、橋本 亮太、森尾 保徳、吉尾 隆、池田 和隆
欠席委員長 内田 裕之、齊藤 卓弥、渡邊 衡一郎
オブザーバ 石郷岡 純、小居 秀紀
議 長 中込 和幸

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

議 案:

前回理事会 (第 69, 70 回理事会議事録) の確認がなされ、異議なく承認された。

報告事項

1. 第 49 回年会準備状況報告 (宮田会長)

宮田会長より以下の通り年会準備状況について報告された。

テーマ: 薬物・精神・行動を紡ぐもの

日 時: 2019 年 10 月 12 日 (土) ~13 日 (日)

会 場: 福岡国際会議場、福岡サンパレス&ホール

会 長: 宮田久嗣 (慈恵医大精神医学)

同時開催:

第 6 回アジア神経精神薬理学会 (AsCNP) 2019 年 10 月 11 日 (金) ~13 日 (日)

第 29 回日本臨床精神神経薬理学会 (JSCNP) 2019 年 10 月 11 日 (金) ~12 日 (日)

2. NeuroPsychopharmacotherapy の執筆依頼 (岩田理事)

岩田理事より、NeuroPsychopharmacotherapy の執筆依頼があった旨が説明された。

JSNP として受諾することが承認された?

JSNP でセクションエディタを決めて AsCNP に協力を要請する?

いろいろと計算する必要がある。簡単には引き受けられない。

タイムライン=2020 年までにオーサーなりが決まっていればいい。

誰が何を担当できるのか具体的に当たってみる。ライターを探す。(中込先生)

中込先生がセクションエディタ?アジアの先生に協力いただきたい>池田先生と連携して。

3. 各種委員会報告

以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。

a. 執行委員会(中込委員長)

中込委員長より、執行委員会活動内容について報告された。

2021 年の年会についてどうするか。会長は臨床の先生。

JSCNP は単独を希望している

単独でいくのか、合同でいくのか→合同で

BP から打診されていることに回答する必要がある

クロザピンに関する説明が橋本先生より

b. 総務委員会(北市委員長)

北市委員長欠席により、中込理事長より 2019 年度の総務委員会活動が報告された。
2018 年 11 月 1 日から 2019 年 4 月 15 日までの会員動向について以下の通り報告された。

会員数	名誉会員	31 名
	功労会員	45 名
	評議員	333 名
	一般会員	726 名
	学生会員	166 名
	法人会員	16 社
	新入会	35 名
	退会	26 名

c. 財務委員会(大隅委員長)

大隅委員長より、審議事項 1 にて報告をおこなう旨が伝えられた。

d. 倫理委員会(尾崎委員長)

尾崎委員長が欠席のため、中込理事長より倫理委員会の活動報告がおこなわれた。

e. 編集委員会(宮川委員長)

宮川委員長より、編集委員会の活動報告がおこなわれた。

f. 国際学術委員会(新田委員長)

新田委員長より、国際学術委員会の活動報告がおこなわれた。

g. 広報委員会(橋本委員長)

橋本委員長より、広報委員会の活動報告がおこなわれた。

h. 企画委員会(喜田委員長)

喜田委員長より、企画委員会の活動報告がおこなわれた。

i. 学術賞選考委員会(大森委員長)

大森委員長より、学術賞選考委員会の活動報告がおこなわれた。

j. トランスレーショナル・メディカルサイエンス委員会(森尾委員長)

森尾委員長より、トランスレーショナル・メディカルサイエンス委員会の活動報告がおこなわれた。

k. 薬事委員会(渡邊委員長)

渡邊委員長からの伝言により、薬事委員会の報告事項はない旨が中込理事より報告された。

l. COI 委員会(宮田委員長)

宮田委員長より、例年通り活動をおこなっている旨が報告された。

m. 中枢薬専門薬剤師あり方検討 Working Group (吉尾委員長)

吉尾委員長より、中枢薬専門薬剤師あり方検討 Working Group の活動報告がおこなわれた。

n. Nomenclature Working Group (内田委員長)

内田委員長より、Neuroscience-based Nomenclature (NbN) に関する報告がおこなわれた。

o. 統合失調症薬物療法ガイドラインスクワース (中込委員長)

中込委員長、橋本執行委員より、ガイドラインの改訂、ガイドの公開、普及・教育・検証活動をおこ

なっている旨が報告された。

- p. PPPs タスクフォース（山脇委員長）
山脇委員長よりそれぞれのワーキンググループの活動報告がおこなわれた。
- q. 会員交流促進タスクフォース（宮川委員長）
宮川委員長より活動報告がおこなわれた。
- r. 先端研究推進基盤構築タスクフォース（成田委員長）
成田委員長より活動報告がおこなわれた。
- s. 児童思春期神経精神薬理タスクフォース（齋藤委員長）
西川監事より齋藤委員長が精力的に活動をおこなっている旨が報告された。
- t. 不安症治療がトピックタスクフォース（井上委員長）
井上委員長より活動報告がおこなわれた。
- t. 50周年記念事業ワーキンググループ（池田委員長）
池田委員長より報告がなされた。
- u. 臨床神経薬理研究基盤構築タスクフォース（服部委員長）

3. 第48回年会開催報告

中込前会長より、資料に基づき1,400人の来場があり中身的にも大変盛況であった。来場目標人数も突破し、収支として10,937,411であり、学会として500万円の収入が得られた。

4. 第50回年会準備状況報告

大隅次期会長より、資料に基づき以下の通り準備状況について報告された。

組織委員長：尾崎紀夫（名古屋大学）

プログラム委員長：富田博秋（東北大学）

プログラム委員：兪志前（東北大学 助教）

特別講演：

Prof. Barbara Sahakian (Cambridge University)

Prof. Schahram Akbarian (Mount Sinai School of Medicine)

岡野栄之先生（慶応大学）

石郷岡純先生（東京女子医科大学）

※外国人2名については同時通訳付きとする

5. CINP2024 東京大会への JSNP 支援について

池田先より、東京観光財団が誘致活動の協力を行っている。アジアの学会からサポートレターが必要であり、中込理事長からサイン入りのレターを送ってもらった。2024年の5月末に東京国際フォーラムを仮予約してCINPの委員会に申請を行っている。

資金的なサポートが必要であり活動資金を日本神経精神薬理学会から支援していただきたい。ソウル大会の際の余剰金240万円をアジアの神経精神薬理学会の開催の準備のために入れていただくため入れておりますがその240万円の支援金は取り下げをし、誘致委員会に組み入れさせていただきたい。との提案があった。

その後、中込理事長が意見を伺い池田委員長の提案は承認された。

審議事項

1. 2019 年度会計中間報告について

大隅財務委員長より収支決算書に基づき説明を行った。
その後、中込理事長より意見を求めたが特になく、承認された。

2. 名誉会員・功労会員推戴の件（事務局）

候補者が以下の通り報告され、承認された。

名誉会員： 石郷岡 純（活動継続のため辞退）、武田 弘志

功労会員： 川口 武、野元 正弘、浅見 隆康、砥出 勝雄、松本 欣三

3. 新入会希望者承認の件（事務局）

2018 年 11 月 1 日から 2019 年 4 月 8 日までに、35 名の入会申込があったことが報告され、全員が承認された。

以上

平成 31 年 4 月 21 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 中込 和幸

出席理事 大隅 典子

出席理事 井上 猛

出席理事 岩田 仲生

出席理事 大森 哲郎

出席理事 菊地 哲朗

出席理事 喜田 聡

出席理事 久住 一郎

出席理事 成田 年

出席理事 南 雅文

出席理事 宮川 剛

出席理事 宮田 久嗣

出席理事 西川 徹